



ベルト荷締機

® GV・GX (強力型)・GXS (ステンレス金具) 共通

取扱説明書

ACNo. TBL-08

1. はじめに

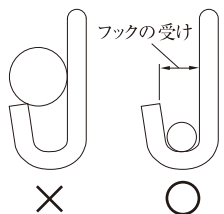
- この度はトラスコベルト荷締機をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。
- ベルト荷締機をご使用になる前に、取扱説明書を必ずお読みいただき、内容をご理解の上、正しくご使用ください。
- この取扱説明書ではベルト荷締機の使用基準事項を『危険』・『注意』の2つに区分しております。

	危険	取扱いを誤った場合に、危険な状況となり、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。
	注意	取扱いを誤った場合に、危険な状況となり、使用者が傷害を負う可能性、または物的損害の発生が想定される場合。

- なお、『注意』に記載した事項でも、状況によっては重大な事故につながる可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

2. ベルト荷締機の使用基準

	危険
■最大使用荷重より大きな荷重が掛かると、金具が変形・破損する恐れがあります。必ず表示された荷重内でご使用ください。(7.仕様表 参照) ■角張った荷にはコーナerpット等の当てものを必ずご使用ください。 ■バックルが荷物に直接接触する場合には、損傷を防ぐ為にプロテクター等の当てものを使用してください。 ■荷物が確実に固定できているかを確認してから輸送等の作業に取り掛かってください。 ■走行中の振動で荷物が移動してベルトにゆるみが発生する可能性があります。ゆるみ防止のための増し締めは十分に行ってください。 ■荷締め作業は足場の良い所で、固定側ベルトが下側または手前側にくるように取り付けて安全に行ってください。 ■荷締機は吊り具ではありません。物を吊り上げる作業には玉掛け専用のスリングをお使いください。 ■荷締機が荷に対し斜めに掛かると、ベルトゆるみやフック外れの危険性があります。締め付け後の状態は多方向から十分に確認をしてください。 ■酸やアルカリ等の化学薬品が付着する条件では使用厳禁です。 ■使用温度は100℃以下とし、高温での使用は控えてください。 ■ベルトの巻き過ぎはラチェットバックルの作動不良を引き起こす原因になります。余分なベルトは作動レバーを操作する前に調整してください。 ■フックの受けよりも大きい所に引っ掛けしないでください。(右図)フック外れや金具が変形・破損する恐れがあります。 ■荷締機を締め付ける時に、作動レバーに棒などを差し込みテコのようにして締めたり、足で踏んで締めたりしないでください。金具の変形・破損の原因となります。 ■荷締機を放り投げたり、地面や床の上を引きずったりしないでください。 ■ベルトを結んだり極端にねじれた状態、または互いに引っ掛けた状態で使用しないでください。 ■点検の結果、廃棄することになった荷締機は補修したり、使用荷重を減らすなどして再使用しないでください。	
	注意
■作業終了時の荷締機は、熱、日光、薬品などの影響を受けない保管場所に保管してください。 ■サビの原因になりますので野外に放置しないでください。 ■スムーズな作動のためにバックルの可動部分には時折注油し、注油後余分な油は拭き取ってご使用ください。 ■使用時には必ず軍手等の保護具を使用してください。 ■作業開始前の日常点検及び定期点検を実施してください。	



3. 製品タイプと各部の名称

ラチェット式(歯車式)のベルト荷締機は用途に合わせて下記の3タイプからお選びいただけます。

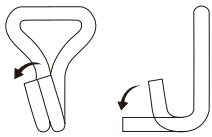
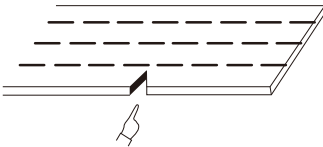
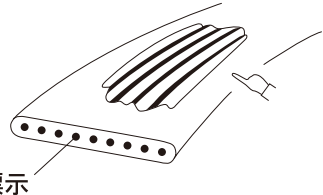
両端金具タイプ	
両端アイタイプ	
エンドレスタイプ	

4. 操作方法

締め付け方	1. 巻取側ベルトの端を巻取ドラムの溝に通し、①の方向に引き抜きながらベルトのゆるみを取ってください。 2. 作動レバーを②のように前後に繰り返して操作して、ベルトを巻き取って締め付けます。 ⚠ 注意 ベルトは巻取ドラムに最低1回以上巻き取ること。巻き過ぎには注意してください。解除不可能になる場合があります。 3. 作動レバーを③の方向に完全に倒せば締め付け完了です。
	ゆるめ方 作動レバーと開放レバーを一緒に握り、④の方向に180°開くとロックが解除されてベルトがゆるみます。

5. ベルト荷締機の点検・廃棄基準

- (1) ベルト荷締機は日常点検⁽¹⁾及び定期点検⁽²⁾を行って使用してください。
注⁽¹⁾ 使用前に行う点検です。
- (2) 定期的に行う点検で、使用頻度によって異なりますが、通常1ヶ月ごとに行ってください。
- (2) 点検項目、点検方法及び廃棄基準は次表を参考にして行ってください。

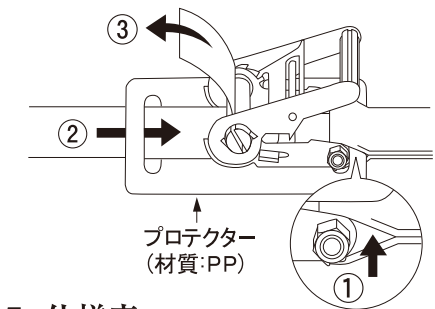
点検及び廃棄基準表		
点検項目	点検方法	廃棄基準
金 具	目 視	■ ラチェットバックルおよび先端金具に著しい変形、摩耗、腐食、亀裂などの外観異常が認められるもの。 ■ 破損および部品の欠損したもの。 
	動作確認	■ 動作不良および動作不能のもの。
ベルト	目 視	■ 全幅にわたって織り目が分からないほどに毛羽立ちし、たて糸の損傷が認められるもの。 ■ 目立ったきりきず、すりきず、引っ掛けきずなどが認められるもの。 
縫製部	目 視	■ 目立ったきりきず、すりきず、引っ掛けきずなどが認められるもの。 ■ 縫糸が切断して、ベルトのはく離が少しでも認められるもの。
アイ※	目 視	■ 織り目が分からないほどに毛羽立ちし、たて糸の損傷が認められるもの。 ■ 目立ったきりきず、すりきず、引っ掛けきずなどが認められるもの。 ■ 縫糸が切断して、アイの形状が保たれないもの。
使用限界 標示の露出 又は消失	目 視	■ 摩耗、きずによってベルト、縫製部、アイのいずれかの部分において、ベルト内部の使用限界標示が著しく露出又は消失したもの。 
その他の 外観異常	目 視	■ 熱や薬品などによる著しい変色、着色、溶融、溶解などが認められるもの。 ■ 汚れが著しいために、使用可否の判定ができないもの。
使用期間	管理台帳、 表示などの 確認	■ 使用状況によって一定の使用期限を定め、目立った損傷や外観に異常がなくても使用開始後の期間がこれを超えるもの。

※両端アイタイプの場合

6. プロテクター（付属品）について

プロテクターをご使用になるお客様へ

ラチェットバックルと荷が接触した状態できつくベルトを締め付けると、ラチェットバックルの底部で荷を傷つける恐れがあります。トラスコベルト荷締機に付属しております樹脂製のプロテクターは脱着式となっておりますので、荷の損傷予防としてお客様の用途に合わせてお使い分けてください。



プロテクターの取り付け方

- ① ボルトが通っているベルトの輪にプロテクターの切れ目を差し込んで、プロテクターがラチェットバックルの底部に敷かれた状態にして取り付けます。
- ② 巻き取るベルトの先端を反対側のガイドに下から通します。
- ③ そのままベルトの先端を巻取ドラムの溝に通して、あとは「4. 操作方法」をご参照の上、しっかりと締め付けてください。

7. 仕様表

品 番	製 品 タイプ	先端仕様	ベルト幅 (mm)	ベルト長さ(m)		最大使用荷重 (kg)
				固定側	巻取側	
GV25-150	両端金具タイプ	Sフック	25	0.35	4.5	150
GV25-200	両端金具タイプ	Jフック	25	0.35	4.5	200
GV25-200R	両端アイタイプ	アイ	25	0.35	4.5	200
GV25-200D	両端金具タイプ	Dリング	25	0.35	4.5	200
GV25-200F	両端金具タイプ	フラットフック	25	0.35	4.5	200
GV25-200SP	両端金具タイプ	スナップフック	25	0.35	4.5	200
GV25-200TSP	両端金具タイプ	ツイストスナップフック	25	0.35	4.5	200
GV25-200HK	両端金具タイプ	フック&キーバー	25	0.35	4.5	200
GV38-500	両端金具タイプ	Jフック	38	1	4.5	500
GV38-500E	両端金具タイプ	Eクリップ	38	1	4.5	500
GV38-500R	両端アイタイプ	アイ	38	1	4.5	500
GV38-500D	両端金具タイプ	Dリング	38	1	4.5	500
GV38-500F	両端金具タイプ	フラットフック	38	1	4.5	500
GV38-500SP	両端金具タイプ	スナップフック	38	1	4.5	500
GV38-500TSP	両端金具タイプ	ツイストスナップフック	38	1	4.5	500
GV38-500HK	両端金具タイプ	フック&キーバー	38	1	4.5	500
GV50-800	両端金具タイプ	Jフック	50	1	9.5	800
GV50-800E	両端金具タイプ	Eクリップ	50	1	5	800
GV50-800R	両端アイタイプ	アイ	50	1	5	800
GV50-800D	両端金具タイプ	Dリング	50	1	5	800
GV50-800F	両端金具タイプ	フラットフック	50	1	5	800
GV50-800SP	両端金具タイプ	スナップフック	50	1	5	800
GV50-800TSP	両端金具タイプ	ツイストスナップフック	50	1	5	800
GV50-800HK	両端金具タイプ	フック&キーバー	50	1	5	800
GX50-1000J	両端金具タイプ	Jフック	50	1	5	1,000
GX50-1000R	両端アイタイプ	アイ	50	1	5	1,000
GX75-2500J	両端金具タイプ	Jフック	75	1	7	2,500
GX75-2500R	両端アイタイプ	アイ	75	1	7	2,500
GV25-200ELS	エンドレスタイプ	—	25	4.85		200
GV38-500ELS	エンドレスタイプ	—	38	5		500
GV50-800ELS	エンドレスタイプ	—	50	6		800
GX50-1000ELS	エンドレスタイプ	—	50	6		1,000
GX75-2500ELS	エンドレスタイプ	—	75	8		2,500
GX25S-300J	両端金具タイプ(ステンレス)	Jフック	25	0.35	4.5	300
GX25S-300R	両端アイタイプ(ステンレス)	アイ	25	0.35	4.5	300
GX38S-400J	両端金具タイプ(ステンレス)	Jフック	38	1	4.5	400
GX38S-600R	両端アイタイプ(ステンレス)	アイ	38	1	4.5	600
GX50S-700J	両端金具タイプ(ステンレス)	Jフック	50	1	5	700
GX50S-1000R	両端アイタイプ(ステンレス)	アイ	50	1	5	1,000
GV25H-150S	両端金具タイプ	Sフック	25	0.35	4.5	150
GV25H-300J	両端金具タイプ	Jフック	25	0.35	4.5	300
GV25H-300R	両端アイタイプ	アイ	25	0.35	4.5	300
GV25H-300D	両端金具タイプ	Dリング	25	0.35	4.5	300
GV25H-250F	両端金具タイプ	フラットフック	25	0.35	4.5	250
GV25H-300SP	両端金具タイプ	スナップフック	25	0.35	4.5	300
GV25H-300TSP	両端金具タイプ	ツイストスナップフック	25	0.35	4.5	300
GV25H-250HK	両端金具タイプ	フック&キーバー	25	0.35	4.5	250
GV25H-300ELS	エンドレスタイプ	—	25	4.85		300

■各種別注承ります。ベルト長さ及び先端金具の変更につきましては、別途お見積り致しますのでお問い合わせください。

総発売元 **トラスコ中山株式会社** E-mail: techno.center@trusco.co.jp

〒105-0004 東京都港区新橋4丁目28番1号 お客様相談室  **0120-509-849**

製造元 **丸善織物株式会社**

日本製